

ふるさと再発見

第5代島原城主 松平忠房（1619・1700年）

松平忠房公は1619（元和5）年、三河国吉田（今の愛知県豊橋市）に生まれました。忠房公の松平家は、將軍家である徳川家がつて松平家を称していたところから分家で、三河国深溝（今の愛知県幸田町）を出自としたことから「深溝松平家」と称しました。忠房公の父の松平忠利公以降、当主は代々「主殿頭」を名乗りました。1632（寛永9）年6月に吉田藩主であった忠利公が亡くなり家督を継ぎましたが、8月には三河国刈谷（今の愛知県刈谷市）に移され、刈谷藩3万石の藩主となりました。

一方で忠房公は文武の諸芸を一流の講師から学び、極めました。さらには神道家の伊藤英治や大和流弓術の開祖である森川香山などの優れた人材を島原に招きました。

肥前島原松平文庫には、忠房公の集書の証である「尚舎源忠房」と「文庫」の二つの印が押された書物が数多く遺り、忠房公が探求心旺盛だったことを物語ります。

1698（元禄11）年、家督を養子の忠雄公に譲って隠居し、1700（元禄13）年に82年の生涯を閉じました。

（社会教育課学芸員 吉田信也）

主となりました。

島原における忠房公の治政は、30年近くに及びました。前藩主の時に過重となっていた農民の負担を緩和する政策をとるなど、民心の安定を図りました。



文武にすぐれていた忠房公の直筆和歌（島原城蔵）

地域おこし協力隊コラム⑬

協力隊、なんしよっと？

地域おこし協力隊 小野友代佳

こんにちは。地域おこし協力隊の小野友代佳です。

地域おこし協力隊としての活動期間もいよいよ残り1年余りとなりました。

昨年、しまばらPRキャラクタ―「かんザラシ」を活用した活動をより活発にするため、クラウドファンディングという方法を用いて、「長崎県、島原」を広めたい！かんザラシと一緒に島原PR大作戦！」と題して、



しまばらPRキャラクター「かんザラシ」グッズ

り県外の人たちからも反応があり、島原に興味を持ってくれている人がたくさんいることを実感し、とてもうれしかったです。

また、昨年末には、五島市で行われた「ハンドメイドマーケットinGOTO」に参加し、島原のことを絡めた手作り雑貨を出展するなど、少し趣向を変えたアプローチ方法で情報を発信しました。

あつという間

島原のことを紹介したページをインターネット上で公開するとともに、活動支援を募りました。この方法が無事に成ることができたのは、以前よりも少し大ききことができたのが大ききことができた。そして、想像していたよ

に3年目ですが、残りの期間も自分らしい方法で楽しみながら島原のことを発信していきたいと思えます。

▼問い合わせ先 政策企画課
☎0958-80112